

教育民生常任委員会 所管事務調査 報告書

1 開催日時

令和7年10月15日（水曜日）午前9時30分～正午

（令和7年10月14日～10月16日）

2 開催場所

茨城県水戸市：①水戸市立西部図書館 ②水戸市立中央図書館

3 出席委員（6名）

委員長 浅野直子	副委員長 伊藤嘉樹
委員 小松大介	委員 荒谷敏
委員 出川博一	委員 村上治

4 欠席委員（なし）

5 説明のため出席した者（4名）

① 水戸市立西部図書館 館長 笹川直樹 教育委員会事務局 教育部 中央図書館 館長 堀野辺直
② 教育委員会事務局 教育部 中央図書館 館長 堀野辺直 教育委員会 中央図書館 図書係長 柳橋敬子
水戸市議会事務局議事課 書記 軍司紘希

6 事務局職員出席者（1名）

副参事 相澤美和

7 調査事項

図書館運営等について

8 調査報告

教育民生常任委員会では、本市の令和8年開館予定「ユートミヤ」の調査を7月に終え、その上で、今回の水戸市の図書事業の調査は大変有効であり、水戸市中央図書館の基本は、「地域の知の拠点として、学びを支え暮らしに役立つ、市民との協働による魅力ある図書館」を目指すことが示されています。中央図書館を直営とし他の5館を指定管理者とし民間のノウハウを活かした個性ある図書館運営は学びが多かったと思います。

また、デジタルアーカイブの整備に積極的に取り組み、貴重資料の保存では郷土資料などはデジタル化を進め、原本を持ち出さなくともパソコン上で閲覧でき、GIGAスクールへの対応も行い「調べる学習」等の利用も増加しているとのことでした。著作権法上の問題がないものについては、インターネットでも公開しデジタルアーカイブ ADEAC 資料として取り組んでいくこと。

さらに、バックヤードを含む中央図書館は25万冊を保有し、団体貸し出し用の充実を図り博物館と隣接しています。閲覧席や学習席は多くはありませんが、県立図書館も隣接しながら、市民図書館の誇りを持ち、歴史を大事に保有しながら学ぶ機会を演出しています。

そして、指定管理者により運営されている西部図書館の建築は、外周400メートルの屋根付き歩道を備え、健康づくりの要素と図書の融合で大変ユニークなアイデアになっています。

さらに、故佐川一信水戸市長より寄贈された4,700冊の特別コレクション「佐川文庫」は圧巻。司書の努力で季節感あふれる館内のコーディネートは、心地良い空間であり「ユートミヤ」にも期待したいところです。

市民が集う図書館の役割をしっかりと機能させて、蔵書の納入内容も大変重要であり、継続的な来館者を維持することなど、「ユートミヤ」の開館に合わせて今後の予算内容、維持管理費等を注視していきたいと思います。

以上

令和7年12月2日

委員長 浅野直子
